



Subaru

男声合唱団 ニュース№702 '19. 8. 19

昂 inTERRA PAX 地球に平和を 8月16・18日

第13回コンサート(2020年5月24日(日)に向けて 19回総会をふまえ、レッスンに力を入れよう！



□8月16日(金) 18:00~20:30 昂第19回総会後のレッスンが始まりました。当面のLIC大阪のうたごえ合唱発表会、9月22日の創作発表会、11月の「京都うたごえ全国祭典」そして来年5月の昂13回コンサートの成功に向けて、新曲のマスターに苦労しながらも、13回コンサートで歌う昂愛唱歌を再び歌う喜びを感じながら楽しくレッスンに励みましょう！

佃さんの体操・吉岡さんの滑舌レッスン、千秋さんのヴォイストレーニングに始まり、伊藤副指揮者の指揮で、「見上げてごらん夜の星を」「死んだ男の残したものは」を、休憩・連絡報告をはさんで、引き続き「U Boy」「日々草」「朝露」をレッスンしました。

ピアノ伴奏は森二三さん、参加者は全33名でした。

□連絡事項

(1) 技術部より

①13回コンサート予定曲「DINDARU DANDARU」は、技術部で検討しましたが、いくつかの事情を考え、今回は歌わないで次回以降の機会に…ということになりました。

②13回コンサートの特別（強化）レッスンを設定します。（現時点での）

2020年 1月12日(日) 3月8日(日) (両日の時間は未定)

5月22日(金) 18:00~

(2) 昂第2回うたごえ喫茶の案内

8月25日(日) 14:00~ ねむかホール

まだ声掛け等の案内が充分ではありません。1人が1人以上を連れてきてください。

都合で欠席される団員も知人・友人等にお声をかけて誘って下さい。よろしく！

昂演奏曲：「日々草」「朝露」 千秋さん演奏：「方正の青い空」「昂はうたう」



□8月18日(日)昂定例レッスンが14:00~17:00開催されました。佃さんの体操・吉岡さんの滑舌訓練・富樫さんのボイストレーニングのあと、本並先生の指揮で、「昂はうたう」と「方正の青い空」の2曲を合わせていきました。(9月22日の大阪のうたごえ合唱発表・創作の部で発表予定曲)2曲とも、千秋昌弘作詞・森二三作曲で、「昂はうたう」

はこれから昂の愛唱歌として育てたい曲。また「方正の青い空」(榎原昭裕氏との作曲)は、組曲「満蒙の地「方正」の歌」の中の1曲。創作発表会が初演となります。

引き続き、「草競馬」をレッスンしました。「草競馬」は、パート毎に音程とリズムをしっかりとつけて、各パートと合わされるように更に個人レッスンでも励みましょう。

休憩・連絡報告事項をはさんで、伊藤副指揮者の指揮で「ゆらゆら春」「U Boj」「死んだ男の残したもの」をレッスンしました。「ゆらゆら春」は2016年の第10回記念コンサート(いずみホール)で歌った曲。久しぶりに富樫さんのバスソロが聞ける曲として歌いました。

また「U Boj」は(2019.8.13記)の楽譜(最終稿か?)でリズムに乗ってきました。

最後に、本並先生の指揮で、合唱発表曲「日々草」「朝露」をレッスンしました。合唱発表曲は、LICで推薦を確実に受けるように、再度、音程の確認、声の強弱、ハーモニーの完璧さ、声の表現の仕方等「完成」をめざしたレッスンとなりました。ピアノ伴奏は森二三さん。参加者は全32名でした。



□連絡事項

(1) 大阪の合唱発表会: 9月8日(日) リックはびきの

当日: 昂 13:20 ロビー集合 リハーサル 13:30 本番: 14:55 (進行1次案の段階。最終8月25日の打ち合わせ会議で決定します。)

服装: 赤シャツ 9条バッジ 参加予定: 33名(3名未定)

(2) オリジナル発表会: 9月22日(日) ピアーレ大阪(地下鉄御堂筋線・中央線「本町」より東

へ3分) 発表曲:「方正の青い空」「昂はうたう」

当日:昂 11:30ロビー集合 リハーサル11:45 本番:12:45 (進行1次案の段階。最終8月25日の打ち合わせ会議で決定します。)

服装:青シャツ 9条バッジ 参加予定:27名

(投稿) お寺が超満員楽しいフェスタになりました。男声合唱団昂 立川孝信

空堀ピースフェスタを取り組んで

8月6日広島原爆投下の日、全国で平和の取り組みが広がる中、大阪の谷町の妙徳寺で「空堀ピースフェスタ」が取り組まれました。これは13年前から核兵器廃絶の願いを込めてこのお寺で平和の鐘つきが行われていたのがきっかけで、平和な街づくりに広げようと「空堀ピースフェスタ」として様々な企画を取り組んできました。講演・映画・合唱・けん玉・ダンス・ジャズ・紙芝居等々プロアマを問わず参加していただきました。

今回は紙芝居・古典と現代のフラダンスそして元満蒙開拓少年義勇軍の藤後博巳さんが満蒙開拓の真実・戦争の悲惨な実態を語っていただきました。続いて昂団長の千秋昌弘さんが満蒙開拓の事実を歌と語りでその怒り・悲しみ・無念の思いを聞かせていただきました。感動の創作組曲でした。次にバイオリンとビオラのデュオでプロの素晴らしい演奏を心行くまで堪能しました。最後は新婦人中央支部うたごえサークルルンルンの楽しい手遊びと平和の歌「折鶴」など歌っていただきました。あっという間の2時間でした。お寺の本堂が会場でぎっしりと90の椅子を用意しましたが、何と135人の参加をいただき熱気ムンムン熱中症が出ないかと心配になるほどでした。

フェスタとして9回目を迎えたがこの資金源は100を超える空堀商店街のお店から頂く協賛広告金です。チラシの裏面はぎっしり広告で、これを1万枚作り新聞折り込みしたり街頭宣伝をしました。平和の鐘つきから始まったことが商店街の協力をいただきユニークな企画満載のフェスタに発展しました。いろんな繋がりもできどんな企画になるか楽しみな取り組みになりました。さあ来年はキッズのフラダンスも登場してくれるでしょう。お楽しみに!

国際署名に
ご協力を

被爆者は
核兵器廃絶を
心から求めます

「ヒバクシャ国際署名」に
私も賛同しました。

- 坪井直 (広島被爆者)
(日本原水爆被害者団体協議会代表委員)
- 瀬戸内寂聴 (作家・僧侶)
- 益川敏英 (前名古屋大学特別教授)
- 湯川れい子 (音楽評論家・作詞家)
- 田上富久 (長崎市長)
- Metis (アーティスト・被爆3世)
- 松井一貫 (広島市長)
- 坂本龍一 (ミュージシャン)
- サーロー・セツコ
(被爆者・ノーベル平和賞受賞)

原水爆禁止大阪府協議会



あなたの署名を 心から訴えます。

1945年8月6日と9日、米軍が投下した2発の原子爆弾は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万人の人びとを無差別に殺害しました。真っ黒に焦げ尽った屍、走るむけのからだ、無言で歩きつける人びとの姿。生き地獄そのものでした。生きのびた人も、次から次と倒れていました。生きのびた人も、次から次と倒れていました。被爆者は「自らを救い、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」と誓い、世界に向

けて「ふたたび被爆者をつくるな」と訴えつけきました。

しかし、今なお、核兵器を脅迫に使ったり、新たな核兵器を開発する動きもあります。

あなたの署名が、核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信しています。あなたの署名を心から訴えます。

ブーチン大統領語録 ミサイル米本土も標的

「(中距離核ミサイル)がロシアにとって脅威となる欧洲に配備された場合、ミサイルの発射基地だけでなく、ミサイルの使用を決定する中心にも対抗せざるを得ない」と新型の超高速ミサイルなどで米本国を狙う考えを示しました。

ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名

被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃止する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

よろづやが被爆者を代表

坪井直、吉田勝也、岩佐季三【以上、日本原水爆被害者団体協議会(日本被爆者団体連絡会議会議長)】日本被爆者平和協会、被爆者・原爆被爆者団体連絡会議会議長、内閣府【日本原爆被爆者の会会長】、豊田隆【ラジオ被爆者平和協会会長】、サーロー・セツコ【カナダ在住】、山下泰昭【米国在住】

*は故人。署名は2016年4月現在

私は被爆者の訴えに賛同して署名します

名前	住所

ご記入いただいたお名前や住所など個人情報は、この要請目的以外には使用しません。みんなさんの署名は、毎年の国連総会に提出いたします。

【取扱団体】原水爆禁止大阪府協議会

トランプ大統領語録 核なき世界図

「(核兵器を)米国、同盟国、そして友好国への攻撃を抑止し、平和と安定を維持するための戦略の基礎」と位置付けた。使える核を開発すること、核を使わない攻撃にも核で反撃する可能性を示唆。

国連安全保障理事会での中溝泉事務次長の発言

核使用の恐れ高まる

「冷戦後の軍縮の成功は終わろうとしている。核兵器が使われる恐れはかつてなく高まっている。中距離核戦力全廃棄条約の破棄などにより、米国とロシアが築いた軍備・軍備管理体制が崩壊に向かいつつある状況に危機感を示し、来年の核不拡張条約再検討会議に向けた積極的取り組みを各国にうたうた。

世界から核兵器をなくしましょう

核兵器の廃絶をめざすヒバクシャ国際署名は全国で941万人、大阪では53万人の署名が集まり、知事や市町村長の署名も1200筆以上となり、今でも増えづづけています。

国連では「核兵器禁止条約」が採択され、122カ国が賛成しました。「条約」が発効まで50カ国の批准が必要で、2019年3月現在23カ国が批准しています。この「条約」が発効すれば、核兵器を開発・製造・保有を禁止し、使用することも、廃しに使うことも許さない法的拘束力を持つ歴史的でできごとになります。

唯一の被爆国である日本政府はアメリカの「核の傘」を安全保障の基本にすえ、「核兵器禁止条約」に反対しています。

たくさんの署名、自治体から意見書を積み上げ、日本政府に「核兵器禁止条約」への批准を求めていきま